

インドの仏教美術

第4回目となるこのプログラムでは、インド仏教美術を研究するためインドに留学した秋山館長が、貴重な画像の数々とともに、インドの仏教説話と美術について、親しみやすいテーマを選んで解説します。今回はブッタの前世について説いた『本生話(ジャータカ)』のなかから、特に好まれた主題を3つ選び、インドから伝播した仏教文化の広がりとともに、アジア諸地域での作例も検証します。

2020年9月12日(土) 13:30~17:00

※同日に3つのテーマをお話します。途中で休憩をはさみます。
冒頭に今回のトークの趣旨と概要をお話します。

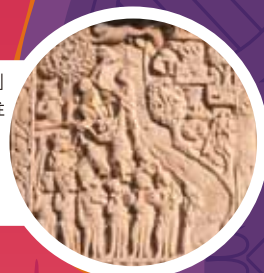
1

大猿本生

ブッタの前生であった猿の王が、自らの身体を橋の一部として仲間たちの窮地を救います。

サンチー第1塔西門

「大猿本生浮彫」
サンチー第1塔西門南柱



2

ルル鹿本生

ブッタの前生であった黄金色の鹿が、河の中で溺れている男を救助しましたが、この男の裏切りによって窮地に陥ります。

「ルル鹿本生浮彫」
パールフット出土欄楯柱



3

六牙象本生

ヒマラヤ山中にすむ6本の牙をもつ象王はブッタの前生でしたが、ふもとの王国から派遣された狩人の求めに応じ自ら牙を与えます。

「六牙象本生壁画」
アジャンタ第17窟



【講師】目黒区美術館 館長 秋山光文

【会場】目黒区美術館 本館2階展示室 【対象】高校生以上(定員50名)

聴講無料、要申込(先着順)

8月14日(金)から申込開始(募集開始以前の申込は無効となります)

【申込方法】

- *事前申込制。申し込みに必要な情報①~④を明記の上、下記いずれかの方法により、お申込みください。
 - ①希望催事名②氏名③住所④電話番号(昼間に繋がる連絡先)、メールなどの連絡方法
 - ・ウェブ→目黒区美術館ウェブサイトの申し込み専用フォームから
 - ・ハガキ→153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 館長トーク担当宛
- *募集開始日から先着順に受け付け、お申し込みいただいた日から7日目位を目途に、受付の返信をいたします。
- *申込を締め切る場合は、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。
- *講座当日は、展示替え期間中のため、開催している展覧会はございません。
- *会場の座席は十分な間隔をあけて設置しております。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によりましては、中止になる場合がございます。
最新の情報につきましては当館ウェブサイトをご確認ください。

【申込・問い合わせ先・主催】

目黒区美術館 住所:153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 電話:03-3714-1201(代表)
内容についてはこちらへ:03-3711-9558(学芸)
ファックス:03-3715-9328 <https://www.mmat.jp>